

2023年11月14日  
伊予鉄道株式会社

## 郊外電車に新型鉄道車両 7000 系を導入！

～バリアフリーに対応、環境性能を向上～

伊予鉄道株式会社（本社:松山市、代表取締役社長：清水一郎）は、2025年2月（予定）より、郊外電車に新型鉄道車両 7000 系を6両（2編成分）導入します。2027年まで毎年6両（2編成分）、3年間で合計18両（6編成分）を導入する予定です。



### 1. コンセプト

人に優しいバリアフリー設計。脱炭素化に向けた省エネ性能向上。乗ってみたいくなる未来型流線形のフォルム。そして、オレンジ色のカラーリングにより愛媛らしさを表現しています。

2. 投資額 約39億円 ※2025年～2027年の3年間合計

3. 車両製造 近畿車輛株式会社

#### 4. 導入路線 郊外全線（横河原線・高浜線・郡中線）で運用

#### 5. 脱炭素化に向けた省エネ性能の向上

- 車両性能の向上により使用電力を約50%削減（700系比較）
- 軽量ステンレス製車体でVVVF制御、回生ブレーキなど環境性能を向上
- 非化石電源由来の実質的に再生可能エネルギー100%かつCO2フリーの電気を使用

〈参 考〉

項 目	新型車両7000系	旧車両（700系）
車両寸法 （1両 長さ×幅）	18m×2.7m	18m×2.7m
車 体	ステンレス製	鋼鉄製
照明設備（車内灯、前照灯等）	LED	蛍光灯、白熱球
空調設備（マイコン制御装置）	○	×
制御装置	VVVF制御・回生ブレーキ	抵抗制御
熱線吸収ガラス窓	○	×
補助電源装置 （静止型変換装置）	SIV （高効率化による省エネ型）	SIV （非省エネ型）
車両情報制御装置	○	×

#### 6. バリアフリー

車椅子スペース、LCD 車内次駅案内表示器などバリアフリー基準適合車両です。

#### 7. 英語表記・アナウンス

行先・次駅案内の英語表記、英語車内アナウンスにより、外国人観光客に対応します。

#### 8. 車内にデジタルサイネージ

全扉上部にデジタルサイネージを導入し、中吊り広告の無い広々とした車内にします。

〈スケジュール〉

2025年2月（予定）	6両（1編成3両×2編成）	
2026年2月（予定）	6両（1編成3両×2編成）	
2027年2月（予定）	6両（1編成3両×2編成）	合計 18両（6編成）

※新型車両導入に伴い700系車両は順次廃車します。

※環境省の国庫補助金を活用する予定です。

以上

＝お問い合わせ＝  
伊予鉄道(株)企画課 TEL：089（948）3323